

第 62 回

日本理学療法学術研修大会 in 福島

開催趣意書

テーマ：「共感と革新－専門性をつなぎ、実践を深める－」

会 期：2027 年 5 月 22 日（土）、23 日（日）

会 場：ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）

大会長：舟見 敬成（総合南東北病院）

大会 HP：<https://tohoku-kyoritz.jp/nichiken62>

目次

内容

1. 大会趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 研修大会企画の基本コンセプト・・・・・・・・	2
3. 開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4. 各種広告 募集要項・・・・・・・・・・	8
I. 幕間スライド	
II. プログラム抄録集	
III. ホームページバナー広告	
IV. 会場内スポット広告	
V. 機器展示	
VI. 書籍展示・販売について	
5. 各種広告の申し込みおよびお支払いについて・・・・・・・・	16

1. 大会趣旨

大会テーマ：「共感と革新－専門性をつなぎ、実践を深める－」

近年、理学療法を取り巻く環境は大きく変化しています。医療、介護、地域生活、教育、福祉など、幅広い分野で理学療法士の専門性が求められるようになりました。その多様な現場に共通して必要とされるのが、「共感（Empathy）」の視点です。

「共感」とは、単なる感情的理解ではありません。相手の立場や背景に寄り添い、身体感覚や価値観に耳を傾け、相互理解の中で関係性を築く力です。私たち理学療法士は、日々の実践を通して身体を介した対話を行っており、その中には“動作”だけでなく、“生き方”や“生活”に共鳴する力が求められています。

同時に、私たちには革新的な視点も必要です。テクノロジーの進展や多職種連携の深化、教育や災害支援の新しい形は、理学療法に新たな可能性をもたらしています。本大会では「共感」を基盤としながら、革新的なアプローチをどのように実践に結びつけるかを探求していきます。

開催地となる福島は、東日本大震災や災害支援を通じて「共感」と「つながり」の大切さを学んできた地域でもあります。地域包括ケアや復興の歩みは、全国の理学療法士にとって多くの示唆を与えるものです。福島の地で学び合うことは、理学療法の未来をともに考えるうえで大きな意義を持ちます。

本大会が、分野や立場を越えて学び合う場となり、参加者一人ひとりが“共感する専門職”としてのあり方を深め、新たな実践へとつなげていく契機となることを願っています。

第 62 回日本理学療法学術研修大会 in 福島

大会長 舟見 敬成



2. 研修大会企画の基本コンセプト

1) プログラム企画について

(1) “見る・感じる・伝える”臨床技術と共感力～実技×可視化セミナー～（第1会場）

最新の医療機器、実際の介助や動作誘導などをライブで撮影・配信しながら、講師がその意図や感覚を解説。動き・反応・触れ方から、患者理解の深さと“共感的操作”を体感できるセミナー形式としています。

(2) 臨床ステージに応じた“共感”の実践（第2会場）

超急性期・急性期・回復期・生活期という各ステージにおいて、患者の状態やニーズ、家族の関わり方は大きく異なります。各期の“共感的関与”の実際を各領域（臓器）におけるパネルディスカッション形式にて、参加者とともに深め、思考を育む場とします。

(3) 共感を体現するハンズオン（第3会場）

“技術”に宿る“共感”を体験を通じて習得することを目的としています。対象者の変化を“感じる”感性、技術選択の背景にある思考、観察とフィードバックの質を高める内容となっています。

(4) 臨床の土台にある共感力 ～Physical Assessment の再点検～（第4会場）

各疾患群における Red Flag 対応、重複疾患の評価・支援、身体所見の統合的判断評価・観察の力は、対象者を理解しようとする“共感のはじまり”として重要です。曖昧なままになりがちな臨床スキルを再点検し、確かな理解と対応を身につけることを目的に、基礎講義と実践例提示を通して学べる機会となっています。

(5) “生きる”を支える共感のまなざし～小児・難病支援～（第5会場）

対象者本人の思いや、家族との関係性に寄り添いながら進める支援には“共に生きる”という姿勢が求められます。身体的・情緒的な成長を支える視点を探ることを目的に、症例提示や患者会など当事者におけるパネルディスカッションを通して学べる機会となっています。

(6) テクノロジー×共感×世界：国際的視点からみる理学療法の進化と臨床支援の可能性（第6会場）

理学療法におけるテクノロジー活用は世界的に進展し、臨床・研究・教育の新たな可能性を生み出しています。本セッションでは、共感に基づくテクノロジーの活用を通じて、患者や学習者の文化的背景や感じ方に寄り添う支援のあり方を考えると同時に、世界各地で検討・実践されている理学療法におけるテクノロジー活用の現状と可能性について深く広く考えていきます。

(7) こころとからだをつなぐ共感的アプローチ (第7会場)

「痛み」「不安」「あきらめ」など、身体に表れる“こころの声”をどう読み取るかが求められています。QOL 向上に向けた目標設定、動機づけ支援、身体心理的介入をはじめ、感情と行動に働きかけるアプローチ等をボディーワークやワークショップ形式を通して学ぶ機会となっています。

(8) 暮らしと共にある理学療法 ～地域・災害支援の現場から～ (第8会場)

生活の現場では“共感”が信頼を生み、関係性がケアの質を高めるとされています。被災地支援など多様な場面での実践をもとに、理学療法士の社会的役割を問い直すことを基盤に、実践報告や都道府県におけるパネルディスカッションやワークショップなどを通して学ぶ機会となっています。

(9) 革新と共感を紡ぐ症例検討会 (第9会場)

症例を通じて急性期から生活期、終末期医療まで幅広い領域を取り上げることで、理学療法の未来を見据えた包括的な臨床力の向上を目指します。

(10) 市民公開講座 (第1・2会場)

「人生をともに歩む力 ― 共感が支える健康とパートナーシップ ―」

①企画背景

近年、医療・介護・地域生活の多様化に伴い、健康の維持・増進には専門職による支援のみならず、人と人との関係性や社会的つながりの重要性が強く認識されています。本大会のテーマである「共感と革新」は、理学療法士の専門性の中核をなす概念であり、とりわけ「共感」は、対象者の生活背景や価値観を理解し、より良い支援へとつなげるために不可欠なものです。

一方で、市民にとって「共感」や「健康との関係性」は抽象的であり、専門的な講義だけでは理解が難しい側面が考えられます。そのため、実生活に根ざした具体的な体験を通じて伝える機会が求められると考えます。

内容は現在調整中です。

2) 大会運営について

(1) 人材の発掘・育成、繋がり創出

準備委員会などの大会運営スタッフには、今後の理学療法業界を担う若手の理学療法士を登用し、将来に向けた人材の発掘・育成、繋がり創出する。

(2) 多くの参加を受け入れるために大規模な会場を確保

ビッグパレットふくしまは、東北新幹線郡山駅からアクセス可能で、広域からの参加が容易であり、大展示場と複数の会議室を備えることで講演、ハンズオンセミナー、パネルディスカッションやワークショップ、症例検討会を同一施設内で開催できる。さらに十分な駐車場を有し、県内参加者の利便性が高い。

1. 大会日程

2027 年 5 月 22 日（土）～2027 年 5 月 23 日（日）

※大会期間の終了後、一定期間のオンデマンド配信を実施

2. 会場

ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地

3. 大会長・副大会長・準備委員長

大会長 舟見敬成（総合南東北病院）

副大会長 山本優一（北福島医療センター）

準備委員長 森山信彰（医薬基盤・健康・栄養研究所）

4. 研修方法および大会運営について

1) 本大会の研修形式は対面およびオンデマンド配信の併用とする。

2) より多くの会員が参加できるよう、開催日は土曜日と日曜日の 2 日間とする。参加については、

対面参加、オンデマンド配信参加ともに 2 日間、もしくは両日のいずれか 1 日のみの参加も可能とする。

3) 参加費は、対面参加、オンデマンド配信参加ともに

<2 日間参加>会員：12,000 円、非会員：24,000 円、学生 0 円とする。

<1 日のみ参加>会員：6,000 円、非会員：12,000 円、学生 0 円とする。

4) 運営効率化のため、基本的に事前登録制とする。

5) 対面参加者およびオンデマンド配信参加者には、対象の研修受講を条件として生

涯学習制度の履修付与を行う。ただし、いずれかの参加形態のみによって付与され、対面参加者がオンデマンド配信を視聴した場合も重複付与とはならない。

- ・対面参加者：認定理学療法士新規申請要件、登録理学療法士更新ポイント、認定/専門理学療法士更新点数

- ・オンデマンド配信視聴参加者：登録理学療法士更新ポイント、認定/専門理学療法士更新点数

- 6) 本大会における認定理学療法士新規申請要件は、以下をもって要件とする。
 - ・各種プログラム（90 分）を合計して9時間
 - ・同一時間帯に複数のプログラムが開講されており、原則的には参加者は希望するセッションを選択・参加することを可能とする。
- 7) 演習やグループワークが含まれる研修は、参加者の研修内容理解を促進するため講師以外に複数名の講師補助者を配置する。
- 8) 1セッション 90 分単位とし、多数の企画を設けることで参加者の多様なニーズに対応した研修大会とする。
- 9) オンデマンド配信参加による研修受講においては、ホームページや配信プラットフォームの使用により、講師と参加者が双方向での質疑応答を可能とする体制を構築する。
- 10) 講師は医学的専門知識を備えた理学療法士のみならず、理学療法の知識を活かして他業種で活躍している理学療法士や、理学療法士以外の他職種からも理学療法士の価値軸を育むために適している人選を行う事とする。
- 11) 研修大会開催期間を通じて機器・書籍販売を行う。参加者の機器展示・書籍販売ブースへの訪問を促進するために、「企業展示回遊記念品」（開催地の名産品などを検討）を準備する。
- 12) 子育て世代の会員が参加しやすいように、お子様連れ参加を可能とし、子育て世代の会員が参加しやすい研修大会とする。
- 13) 主催県（担当士会）として参加者を歓迎するため、交流会（レセプション）を開催し、地域・世代を超えた参加者同士の交流の機会とする。

5. プログラム (案)

【1日目】2027年5月22日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場
会場名	多目的ホール (A)	多目的ホール (B)	多目的ホール (C)	コンベンションホール	中会議室	プレジデント	小会議室2・3	研修室	小会議室1
オンライン	なし	あり	なし	あり	あり	あり	なし	なし	なし
収容人数	700	600	40	500	200	100	40	98	30
形式	基盤・応用・実践・研究・発展	パネルディスカッション	ハンズオンセミナー	基礎講座・実践例紹介	特別講演・パネルドィスカッション	学術発表・実践報告	ワークショップ・パネルディスカッション	パネルドィスカッション	特別講演
テーマ	"見る・感じる・伝える"臨床技術と共感力	臨床ステージに応じた"共感"の実践	共感を体験するハンズオン	臨床の土台にある共感力	"生きる"を支える共感のまなざし	VR・ARを活用した理学療法の可能性	ライフステージから考えるウィメンズヘルス	都市部・仮設住宅における生活再建と身体活動(実践報告)	暮らしと共感をつなぐ共感的アプローチ
9:30				開会式					
10:00	理学療法における臨床情報活用	急性期	急性期における実践的評価・観察	理学療法の基本理念と臨床実践の視点	小児支援の未来を考えるワークショップ	VR・ARを活用した理学療法の可能性	ライフステージから考えるウィメンズヘルス	都市部・仮設住宅における生活再建と身体活動(実践報告)	急性期
10:10									
10:20									
10:40	運動療育療法における脳音波モニタリングを用いた臨床	急性期	呼吸器系の基本技術	運動学・解剖学の基礎を臨床でどう活かすか	パーキンソン病患者に寄り添う理学療法	教育実践×共感×テクノロジー・人も育む学びの進化	将健健者の生涯再建を支える理学療法	地域共生の視点から支援を考える(新潟県・パネル)	回復期
14:30									
15:00	疫学と流行病学を用いた臨床実践の再考	回復期	動きを支える臨床トレーニング	臨床導入例「なぜこの動作ができないのか？」を考える	若いとともに生きる身体理解	ロボティクスとリハビリ支援ー年金の自立と内容はどう見直すか(実践報告)	働く世代を支える生涯理学療法	災害後の心のケアと理学療法士の役割(実践報告)	生涯期
16:30									
17:30	レセプション								
18:30									

【2日目】2027年5月23日(日)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
会場名	多目的ホール (A)	多目的ホール (B)	多目的ホール (C)	コンベンションホール	中会議室	プレジデント	小会議室2・3	研修室
オンライン	なし	あり	なし	あり	あり	あり	なし	なし
収容人数	700	700	40	456	200	100	40	100
形式	基盤・応用・実践・研究・発展	パネルドィスカッション	ハンズオンセミナー	基礎講座・実践例紹介	特別講演・パネルドィスカッション	学術発表・実践報告	ワークショップ・パネルドィスカッション	パネルドィスカッション
テーマ	"見る・感じる・伝える"臨床実践と共感力	臨床ステージに応じた"共感"の実践	共感を体験するハンズオン	臨床の土台にある共感力	"生きる"を支える共感のまなざし	テクノロジー×共感×世界・国際的視点から見る理学療法の進化と臨床実践の可能性	世界の理学療法とデジタルリハビリテーションの最新動向	Well-being時代の理学療法
9:30	ポジショニングの臨床実践	生涯期	自律神経と理学療法の実践	理学療法の臨床基盤としての共感と栄養	生活と身体を支える神経障害リハビリテーション	世界の理学療法とデジタルリハビリテーションの最新動向	Well-being時代の理学療法	地域資源をつなぐローディネットワーク(行政、NPO、医療・福祉職のパネル)
11:00								
11:30	生活を広げる移動支援機器	慢性期	リンパドレナージュの臨床技術	理学療法士へ期待すること(合同企画)	がんリハビリテーションの実践	未来の臨床支援ビジョンー共感と革新の融合	慢性疼痛における身体と心理の理解	災害に備えた地域作りとは？(新潟県・パネル)
13:00								
13:10								
13:40								
14:00	生活を支える摂食嚥下支援	臨床ステージを越えてつながる共感・医療従事者時代の理学療法	スポーツ障害に対する理学療法	AI・データ解析による臨床意思決定支援	Physical Assessmentと理学療法	推進リーダー更新研修会	精神疾患に対する共感的臨床	格差と地域共生ー社会的弱者への支援ー
16:30								
16:00	市民公開講座			閉会式				
17:00								

3. 開催概要

1. 名称 : 第 62 回日本理学療法学術研修大会 in 福島
2. テーマ : 「共感と革新－専門性をつなぎ、実践を深める－」
3. 開催日 : 2027 年 5 月 22 日 (土) ～2027 年 5 月 23 日 (日)

*大会期間の終了後、当該大会に参加（事前登録）した者を対象に、一定期間を設けてオンデマンド配信を実施する。具体的な配信期間や方法については後日決定することとする。

4. 開催場所 : ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地

5. 大会長 舟見敬成（総合南東北病院）
6. 副大会長 山本優一（北福島医療センター）
7. 準備委員長 森山信彰（医薬基盤・健康・栄養研究所）
8. 参加予定人数 3,195 人（うち現地参加 1,430 人）
9. 主催 公益社団法人 日本理学療法士協会
10. 担当士会 一般社団法人 福島県理学療法士会

4. 各種広告 募集要項

I. 幕間スライド

1. 内容	全会場において、会期中スライドの静止画をセッション間の休憩時間にリピート上映いたします。
2. 注意事項	・ 事前申込されたものを運営事務局にて上映いたします。 ・ 設置スペース・上映時間には限りがありますので、ご要望に添えない場合もございます。 ・ 本学会にふさわしくないと判断されたものに関しては、上映をお断りすることがございます。ご了承ください。 ・ 幕間スライドは PowerPoint にて 16：9 スライドにて静止画 1 枚とさせていただきます。※音声や動画、アニメーションはご遠慮ください。 ・ 掲載順番は事務局にて決定いたします。
3. 広告料	20,000 円（税込） 30 件 ・ 申込受理後、ご請求書を公益社団法人 日本理学療法士協会よりお送りいたします。 ・ 「振込金振込控え」をもって領収書とさせていただきます。 ・ 振込手数料はご負担ください。 ・ 振込口座は請求書に記載いたします。
4. 申し込み方法	各種申し込みフォームからお願いいたします。
5. スライド提出方法	運営事務局（nichiken62@tohoku-kyoritz.co.jp） へメールにてご送付ください
6. 申し込み締切日	2027 年 4 月 16 日（金）まで

Ⅱ. プログラム抄録集広告

1. 内容	掲載名：第 62 回日本理学療法学術研修大会 in 福島 プログラム抄録集 (PDF 版) 発行日：2027 年 4 月 (予定) 規格：ホームページでの掲載(PDF データ) 配布対象：第 62 回日本理学療法学術研修大会参加者 抄録サイズ：A4 判・縦
2. 注意事項	・本学会にふさわしくないと判断されたものに関してはお断りすることがございます。ご了承ください。 ・余白などの最終レイアウトは事務局にて調整させていただきます。ご了承ください。 ・掲載順番は事務局にて決定いたします。
3. 広告料	〈前付〉 1 頁：100,000 円 (税込) 2 件 1/2 頁：50,000 円 (税込) 4 件 1/3 頁：30,000 円 (税込) 3 件 〈後付〉 1 頁：100,000 円 (税込) 2 件 1/2 頁：50,000 円 (税込) 4 件 1/3 頁：30,000 円 (税込) 3 件 ・申込受理後、ご請求書を公益社団法人 日本理学療法士協会よりお送りいたします。 ・「振込金振込控え」をもって領収書とさせていただきます。 ・振込手数料はご負担ください。 ・振込口座は請求書に記載いたします。
4. 申し込み方法	各種申し込みフォームからお願いいたします。
5. 広告原稿提出方法	運営事務局 (nichiken62@tohoku-kyoritz.co.jp) へメールにてご送付ください
6. 申し込み締切日	2027 年 3 月 19 日 (金) まで

Ⅲ. ホームページバナー広告

1. 内容	掲載場所：第 62 回日本理学療法学会学術研修大会ホームページ内 掲載方法：バナー掲載および任意のホームページリンクを設定いたします。 掲載期間：データの受領を確認後、本会ホームページに順次掲載いたします。
2. 注意事項	・本学会にふさわしくないと判断されたものに関してはお断りすることがございます。ご了承ください。 ・原稿の画像は JPEG/PNG としてください。 ・掲載場所は事務局にて決定いたします。
3. 広告料	バナーサイズ大(600×200px)：100,000 円（税込）2 件 バナーサイズ中(450×150px)：80,000 円（税込）3 件 バナーサイズ小(300×100px)：50,000 円（税込）10 件 ・申込受理後、ご請求書を公益社団法人 日本理学療法士協会よりお送りいたします。 ・「振込金振込控え」をもって領収書とさせていただきます。 ・振込手数料はご負担ください。 ・振込口座は請求書に記載いたします。
4. 申し込み方法	各種申し込みフォームからお願いいたします。
5. 原稿提出方法	運営事務局（nichiken62@tohoku-kyoritz.co.jp） へメールにてご送付ください。 バナーの場合はリンク先の URL もメールにご記載ください。
6. 申し込み締切日	2027 年 4 月 16 日（金）まで

IV. 会場内スポット広告

1. 内容	会場内特設コーナーにチラシを配置いたします。
2. 注意事項	・本学会にふさわしくないと判断されたものに関してはお断りすることがございます。ご了承ください。 ・配布チラシは A4 サイズ 1 種です。配布物をご準備ください。上限は 1 件のお申込みにつき 300 枚とします。 ・掲載場所は事務局にて決定いたします。
3. 広告料	20,000 円（税込） 20 件 ・申込受理後、ご請求書を公益社団法人 日本理学療法士協会よりお送りいたします。 ・「振込金振込控え」をもって領収書とさせていただきます。 ・振込手数料はご負担ください。 ・振込口座は請求書に記載いたします。
4. 申し込み方法	各種申し込みフォームからお願いいたします。
5. 原稿提出方法	後日、運営事務局よりご案内いたします。
6. 申し込み締切日	2027 年 4 月 16 日（金）まで

V. 機器展示

1. 出展会場	ビッグパレットふくしま 第3会場 (第62回日本理学療法学会学術研修大会 in 福島 開催会場)
2. 注意事項	〈展示内容について〉 会場の利用規則により、以下の行為は禁止とします。 ① 施術行為および施術の実演 ② 高額商品の販売行為 ※詳細は主催者の指示に従ってください。 〈大会の開催変更・中止について〉 天災地変、感染症の流行、その他不可抗力またはやむを得ない事情により、大会の開催期間・開催時間の変更、または大会を中止する場合があります。これにより出展者に生じた損害について、主催者は一切の責任を負いません。 なお、開催を事前に中止した場合は、受領済みの出展料を返金いたします。ただし、出展者が準備等に要した費用については、各出展者のご負担となります。 〈展示物の管理について〉 展示物の管理・保管は、各出展者の責任において行ってください。盗難、紛失、破損等による損害について、主催者は補償を含め一切の責任を負いません。必要に応じて各社で保険への加入等の対策をお願いいたします。 〈事故等の責任について〉 出展者の行為に起因して事故、第三者への損害、その他のトラブルが発生した場合は、当該出展者の責任および費用負担において解決するものとし、主催者は一切の責任を負いません。 〈主催者の指示について〉 安全かつ円滑な大会運営のため、主催者および会場管理者の指示には必ず従ってください。指示に従っていただけない場合は、展示を中止または撤去していただくことがあります。

3. 出展料	〈出展概要〉 出展料 A：100,000 円（税込）／1 区画 B：70000 円（税込）／1 区画 募集数 A:最大 16 区画（先着順） B:最大 20 区画（先着順） ブースサイズ A:間口 5.4m × 奥行 3.6m（19.44 m²） B:間口 3.6m × 奥行 2.7m（9.72 m²） 〈出展料に含まれるもの〉 出展料には、以下の備品・設備が含まれます。 プラン A（標準） • バックパネル（W900mm × H2100mm）2 枚（予定） • 展示机 4 台（予定） • 椅子 8 脚（予定） • 社名板（W1200mm × H200mm）1 枚（予定） • コンセント（電気使用料を含む） ※電気工事や特殊電源等が必要な場合は、別途お見積りとなります。 プラン B（コンパクト） • 展示机 2 台（予定） • 椅子 6 脚（予定） 〈展示ブースについて〉 • 募集区画数は目安です。申し込み状況および展示レイアウトの都合により、各プランの区画数を変更する場合がございます。 • 申込受付は先着順とし、展示スペース全体の区画には限りがあるため、募集数に達する前でも受付を終了する場合がございます。 • 展示ブースの配置は、会場運営上の都合により大会事務局が決定いたします。出展者による配置の指定はできません。
--------	--

	〈展示時間の確保〉 本大会では、機器展示の価値を最大限に高めるため、参加者が展示ブースを十分に見学・交流できるよう、セッション間の時間を従来の大会より延長し、各 30 分の展示・交流時間を設けております。また、22 日の全セッション終了後にレセプションを開催予定です。 さらに、参加者が企業展示ブースへ積極的に足を運べるよう、スタンプラリー等の回遊企画を実施することを検討しています。 〈出展料のお支払い〉 • 申込受理後、公益社団法人日本理学療法士協会より請求書を発行いたします。 • 出展料は、請求書に記載された指定口座へ期日までにお振込みください。 • 振込手数料は出展者にてご負担ください。 • 「振込金受領書（振込控え）」をもって領収書に代えさせていただきます。
4. 申し込み方法	各種申し込みフォームからお願いいたします。
5. 申し込み締切日	2027 年 4 月 16 日（金）まで

VI. 書籍展示・販売について

1. 出展会場	ビッグパレットふくしま 第3会場 (第62回日本理学療法学術研修大会 in 福島 開催会場)
2. 出展概要	〈募集概要〉 募集数 若干数 (先着順) 展示場所 第3会場 (予定) 展示期間 大会開催期間中 〈展示内容〉 理学療法、リハビリテーション、医療・介護・福祉等に関連する書籍・雑誌・教材等の展示および販売を行うことができます。 〈展示料〉 書籍展示料：書籍販売売上の3%を書籍展示費とする。 ※展示料には展示スペースおよび基本備品(机・椅子等)が含まれます。詳細は別途ご案内いたします。 〈展示スペース〉 ・机1台(W1.8m×D0.45m)×必要本数(最大6本)／1小間 ・電源が必要な場合は、事前に大会事務局へご相談ください。 〈販売について〉 ・書籍等の販売は、出展者の責任において実施してください。 ・金銭の授受および商品の管理は、各出展者が行ってください。 ・主催者は販売に伴うトラブルについて、一切の責任を負いません。 〈その他〉 ・展示場所は大会事務局が決定いたします。 ・募集数に達し次第、受付を終了いたします。 ・本大会では、参加者が展示ブースを十分に見学・交流できるよう、セッション間に各30分の展示・交流時間を設けています。また、22日の全セッション終了後にレセプションを開催予定です。
4. 申し込み方法	各種申し込みフォームからお願いいたします。
5. 申し込み締切日	2027年4月16日(金)まで

〈情報公開について〉

本学会は、日本製薬工業協会および日本医療機器産業連合会が示す「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を「学会名」「共催セミナー名」「機器展示」「広告掲載」「寄付」の通りに、貴社のウェブサイト上に公開することに同意します。なお、別途同意書への押印・サインは控えさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

複数申し込みによるセット価格を用意しております。

プラン	内容	通常価格	セット価格
展示のみ	機器展示	100,000 円	100,000 円
展示スタンダード	機器展示 + 幕間スライド + 会場スポット広告	140,000 円	120,000 円
展示 PR	機器展示 + 1/2 頁広告 + 幕間スライド	170,000 円	150,000 円
展示 WEB①	機器展示 + HP バナー（大）	200,000 円	180,000 円
展示 WEB②	機器展示 + HP バナー（中）	180,000 円	165,000 円
展示 WEB③	機器展示 + HP バナー（小）	150,000 円	140,000 円
展示プレミアム	機器展示 + 1 頁広告 + HP バナー（中） + 幕間スライド + 会場スポット広告	320,000 円	270,000 円

5. 各種広告の申し込みおよびお支払いについて

下記 QR コードまたは協賛申込フォームより、必要事項をご記入ください。

〈協賛申込フォーム〉

<https://form.run/@nichiken62-sponsorship>



※お申し込み後の取消は原則として受け付けません

※振込先については、申込受付後、担当者様へ請求書を送付させていただきます。

※個人情報の取り扱いについて

お申込に際してお預かりしたお名前、メールアドレス等の個人情報は、本会への各お申込に関する請求書、各制作および運営関係以外の目的には使用いたしません。また、個人情報は第三者には開示いたしません。

お問合せ先：第 62 回日本理学療法学術研修大会事務局（株式会社東北共立 内）

〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松二丁目 10 番 11 号

TEL：022-246-2591

E-mail：nichiken62@tohoku-kyoritz.co.jp

「第 62 回日本理学療法学術研修大会 in 福島」収支予算書

(収入)

単位：円

科目	内容	金額
参加費	会員（現地 2 日参加）	14,400,000
	会員（現地 1 日参加）	1,200,000
	非会員（現地 2 日参加）	480,000
	非会員（現地 1 日参加）	120,000
	学生（現地）	0
	会員（オンデマンド 2 日参加）	18,000,000
	会員（オンデマンド 1 日参加）	1,500,000
	非会員（オンデマンド 2 日参加）	240,000
	非会員（オンデマンド 1 日参加）	60,000
	学生（オンデマンド）	0
寄付金		0
協賛	抄録集広告	980,000
	会場内スポット広告	400,000
	会場内幕間スライド広告	600,000
	バナー広告（HP）	940,000
	機器展示	3,000,000
	書籍展示	18,000
	会場貸出（ランチョンセミナー）	0
助成金	郡山市コンベンション助成金	500,000
	福島県コンベンション助成金	1,000,000
		43,438,000

(支出)

単位：円

項目	内容	金額
諸謝金	大会準備委員会会議日当 (事前会議)	(WEB) 780,000
		(対面) 195,000
旅費交通費	大会準備委員会会議旅費	390,000
	大会視察費	1,200,000
賃借料	施設使用料	4,200,000
	附属設備使用料	1,500,000
設営料	会場機器展示設営料 撤去費	1,000,000
諸謝金	講師謝金	3,900,000
	運営スタッフ大会当日日当	2,400,000
	運営スタッフ大会当日食事費	666,000
	大会各部局会議日当(事前会議費)	1,000,000
旅費交通費	講師旅費交通費	3,900,000
	講師宿泊費	1,200,000
	準備委員宿泊費	264,000
	座長当日交通費	150,000
	運営スタッフ大会当日旅費	1,266,000
	シャトルバス(会場-郡山駅間)	500,000
	大会各部局会議旅費(事前会議費)	50,000
市民公開講座	委託費	3,000,000
運営委託費	当日撮影	3,500,000
	その他の運営委託	5,000,000
消耗什器備品費	記念品・事務用品費	1,000,000
託児所費用	託児所設置	600,000
手数料	支払手数料	30,000
事務管理費	日本理学療法士協会事務局業務	3,000,000
会場周辺環境対応費	昼食販売運営費	200,000
プログラム抄録集	プログラム抄録集作成費	1,000,000
雑費	雑費	1,547,000
合計		43,438,000

※2026年08月26日時点の予算書